

スポーツの推進 (南二日町人工芝グラウンド改修、みしまジュニアスポーツアカデミー)

アナ： 「市長が語る 2020 三島」第23回の今日は、「スポーツの推進」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 「スポーツの推進」というと体育施設の整備や競技スポーツの振興など、色々あると思います。今年度「スポーツの推進」に向けて三島市が力を入れている大きな柱は何でしょうか。

市長： 今年度の主要な取り組みとして、多くの方に利用して頂いております「南二日町人工芝グラウンド」の改修と、子どもたちの潜在能力を引き出し、能力に応じた競技とマッチングする「みしまジュニアスポーツアカデミー」の2つを、鋭意進めております。

アナ： では、まず「南二日町人工芝グラウンドの改修」について教えていただきたいと思えます。多くの方が利用しているこの人工芝グラウンド、どのような改修を、いつ行う予定なのか教えていただけますでしょうか。

市長： 南二日町人工芝グラウンドは平成20年の設置から12年が経過し、人工芝に経年劣化がみられておりますことから、今年度、人工芝の全面張替を行います。

改修工事の時期は、利用の少ない12月から3月に実施予定ですが、詳しい日程につきましては、広報みしまやホームページに掲載いたしますのでご確認くださいと思います。

アナ： 新しくなったグラウンドでプレーできるのが楽しみですね。

それでは、もう1つの柱である「みしまジュニアスポーツアカデミー」とはどのような事業でしょうか。

市長： みしまジュニアスポーツアカデミーは、「ここから目指す世界の表彰台」をコンセプトに、子どもたちに、トップアスリートに必要な教養の学習と、運動能力を鍛えるトレーニングを行うとともに、普段なかなか体験のできない競技との出会いの場をつくり、自分の未知の才能や可能性に挑戦してもらうことで、全国や世界で活躍するトップアスリートを発掘・育成する取り組みです。

アナ： なるほど。具体的には、どのような活動をするのでしょうか。

市長： 基本的には週1回の活動で、11月から2月にスポーツ栄養やメンタルトレーニング、コンディショニングなどのトップアスリートに必要な教養の学習と、運動能力を鍛えるための「運動神経を向上させるトレーニング」や「体幹トレーニング」などで基礎的な運動能力を高めます。

その後、2月から11月にかけて、「フェンシング」、「自転車」、「ホッケー」、「ボート」、「レスリング」の5競技をそれぞれ6回程度体験します。

アナ： 体験後はどのようなことが予定されていますか。

市長： 体験が全て終了しましたら、各競技の指導者に評価していただき、その評価結果を基に、体験した競技を始めるかどうか判断していただきます。1年間しっかり活動した子どもたちの運動能力は大きく向上しております。新たな競技を始めなかったとしても、アカデミーでの体験を生かして、その他の競技で全国や世界を目指していただきたいと思います。

アナ： これまでのアカデミー修了生の実績はありますか。

市長： はい。今までに、ボートでは全日本中学選手権競漕（きょうそう）大会で準決勝進出、フェンシングでは静岡県インターハイ代替大会優勝、レスリングでは全国中学生レスリング選手権で優勝し、日本代表として2019年U15アジアレスリング選手権大会で3位となった選手がいます。

アナ： 全国や世界で活躍するような実績が出ていて、これからが楽しみです。

どうすれば、このみしまジュニアスポーツアカデミーに参加ができるのですか。

市長： みしまジュニアスポーツアカデミーは、小学5年生から中学2年生を対象としておりまして、事前の選考会での合格者が参加できます。

現在、9月30日まで6期生の募集をしていますので、ぜひ、多くの子どもたちに挑戦していただき、世界を目指してもらいたいと思います。

アナ： 来年は、東京オリンピック・パラリンピックも予定されていて、子どもたちのスポーツへの関心も更に高まっていくと思いますので、多くの子どもたちにアカデミーに挑戦してもらい、将来、三島からも世界で活躍できる子どもたちがたくさん出てくるといいですね。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。